

FOPの親子例

鬼頭浩史 片桐岳信

父：35歳

3歳頃：左外反母趾の手術→母趾強直

6歳：いすから転落後、頸部の可動域制限

7歳：右頸部の異所性骨化摘出術→骨化増悪

12歳：FOPと診断

高校生の頃：側彎が進行

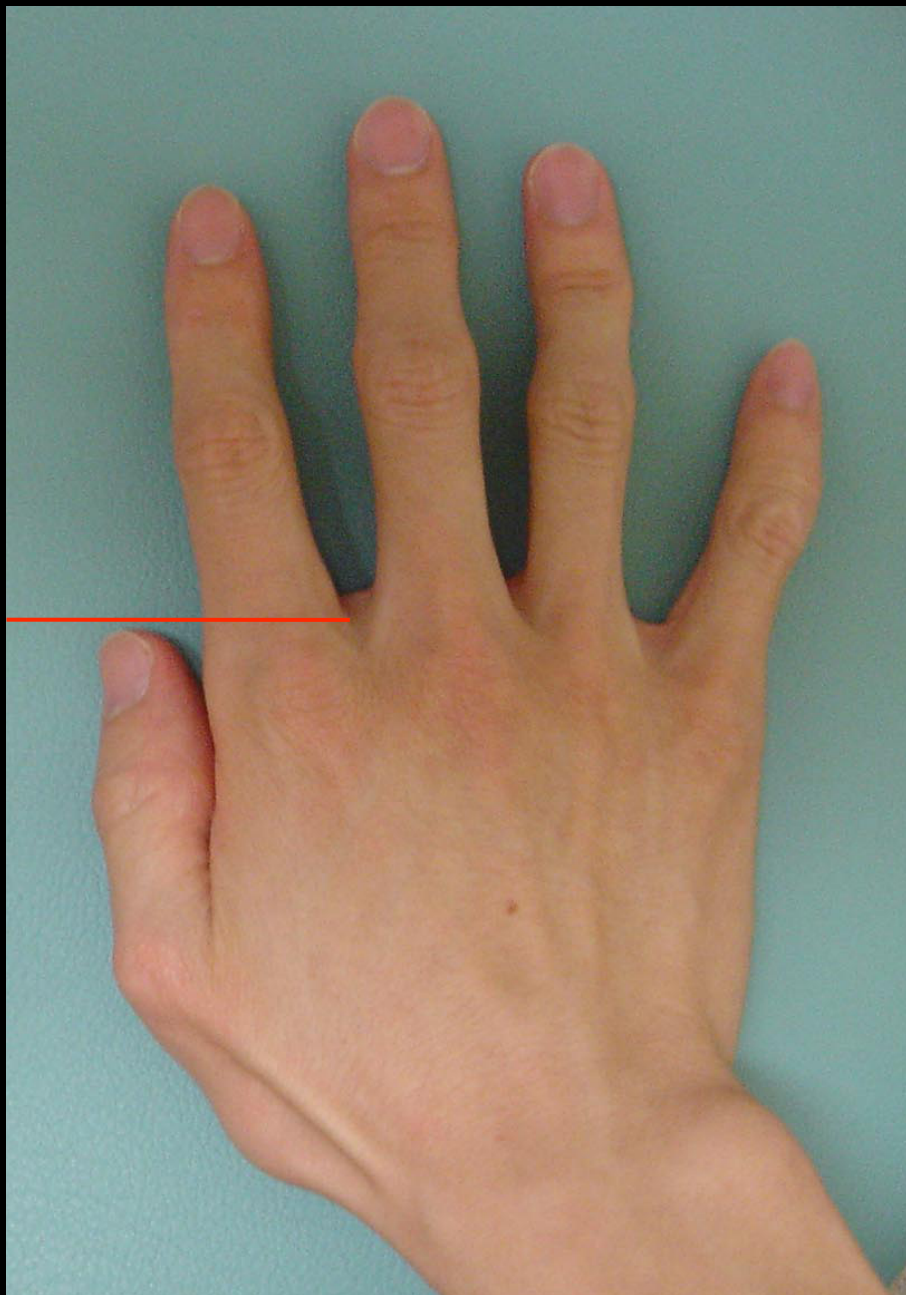
29歳：転倒して右股関節挫傷→股関節周囲の骨化増悪

32歳：遺伝子解析(R206H)

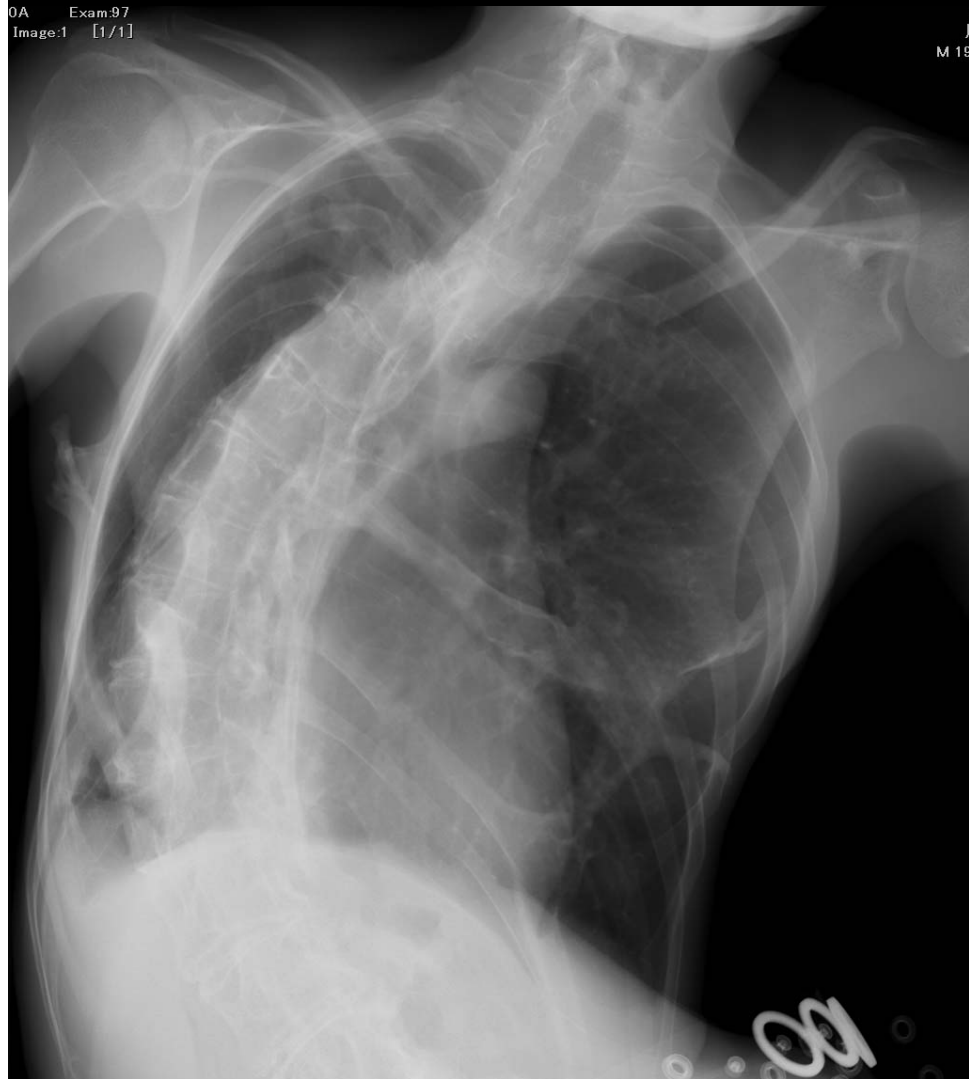
34歳：開口障害が徐々に増悪

35歳：当院初診

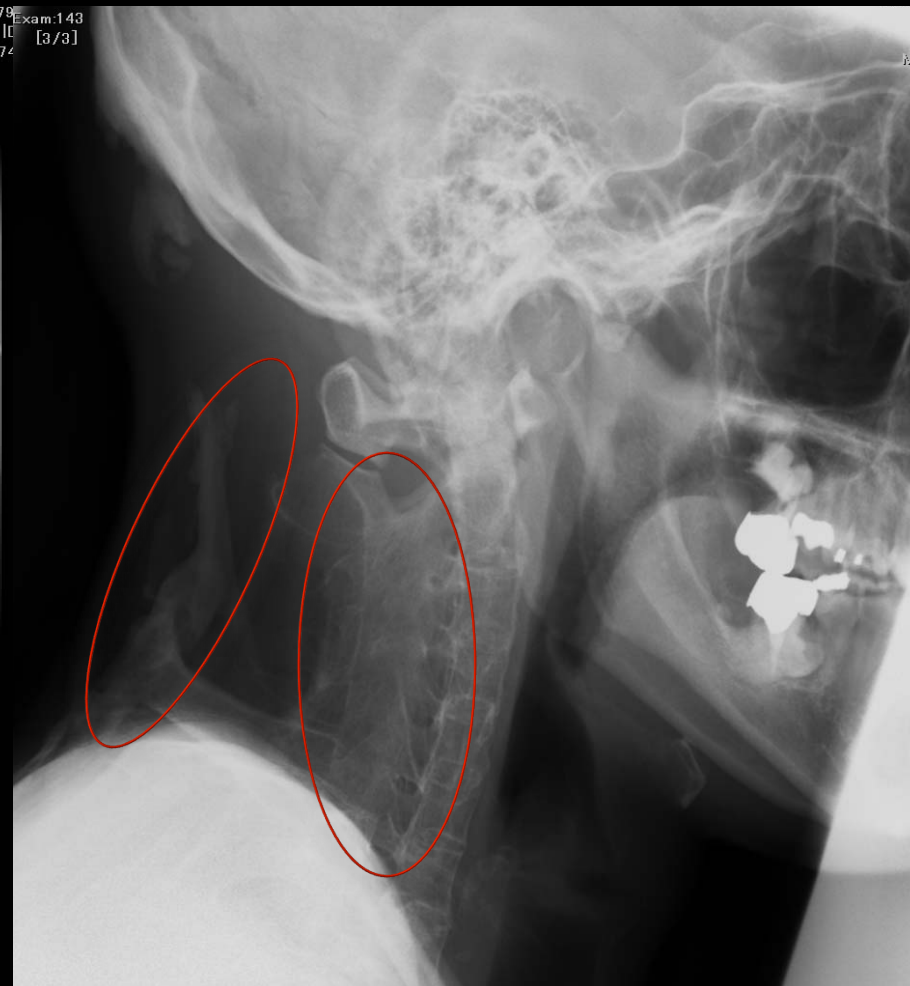


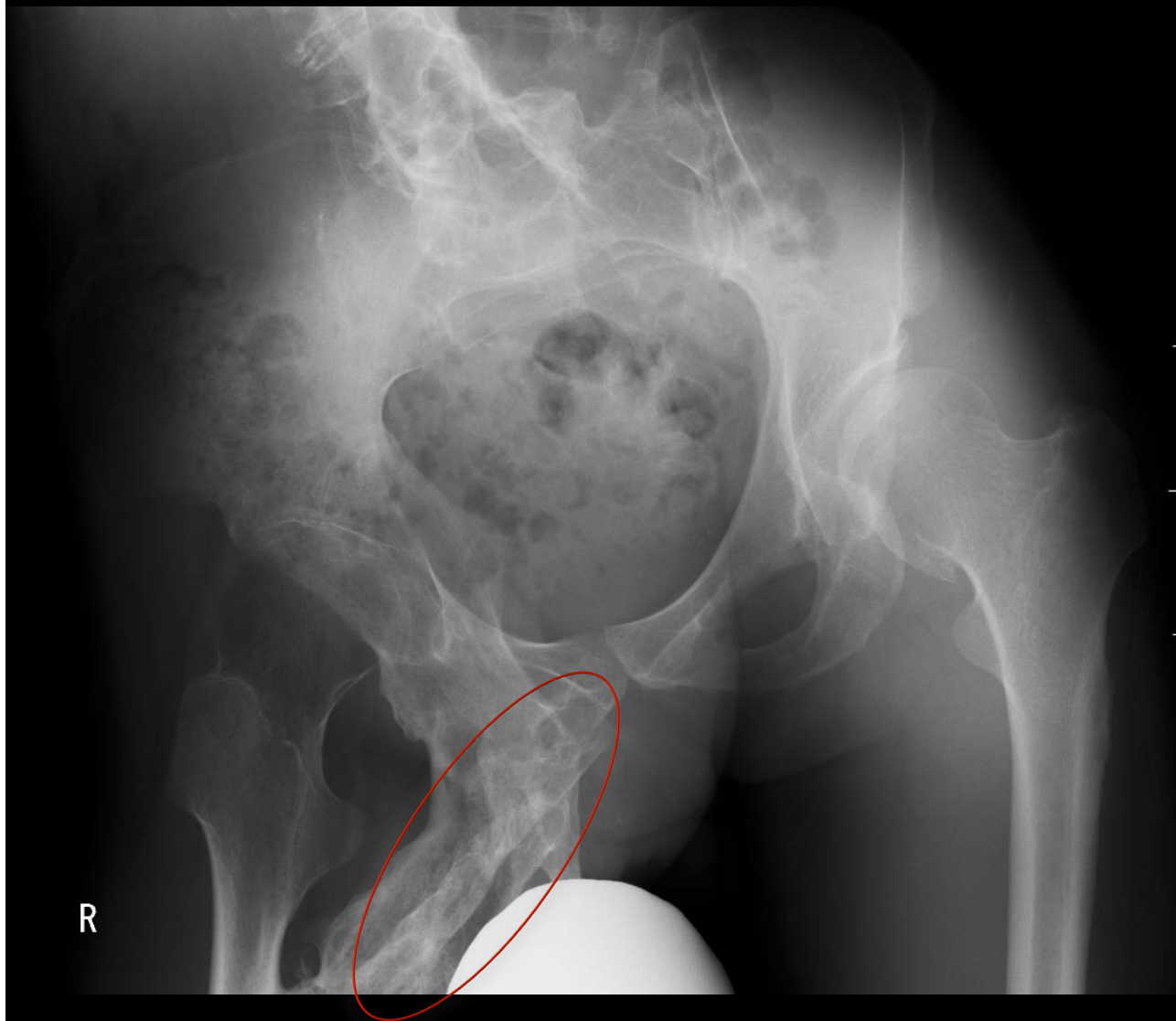


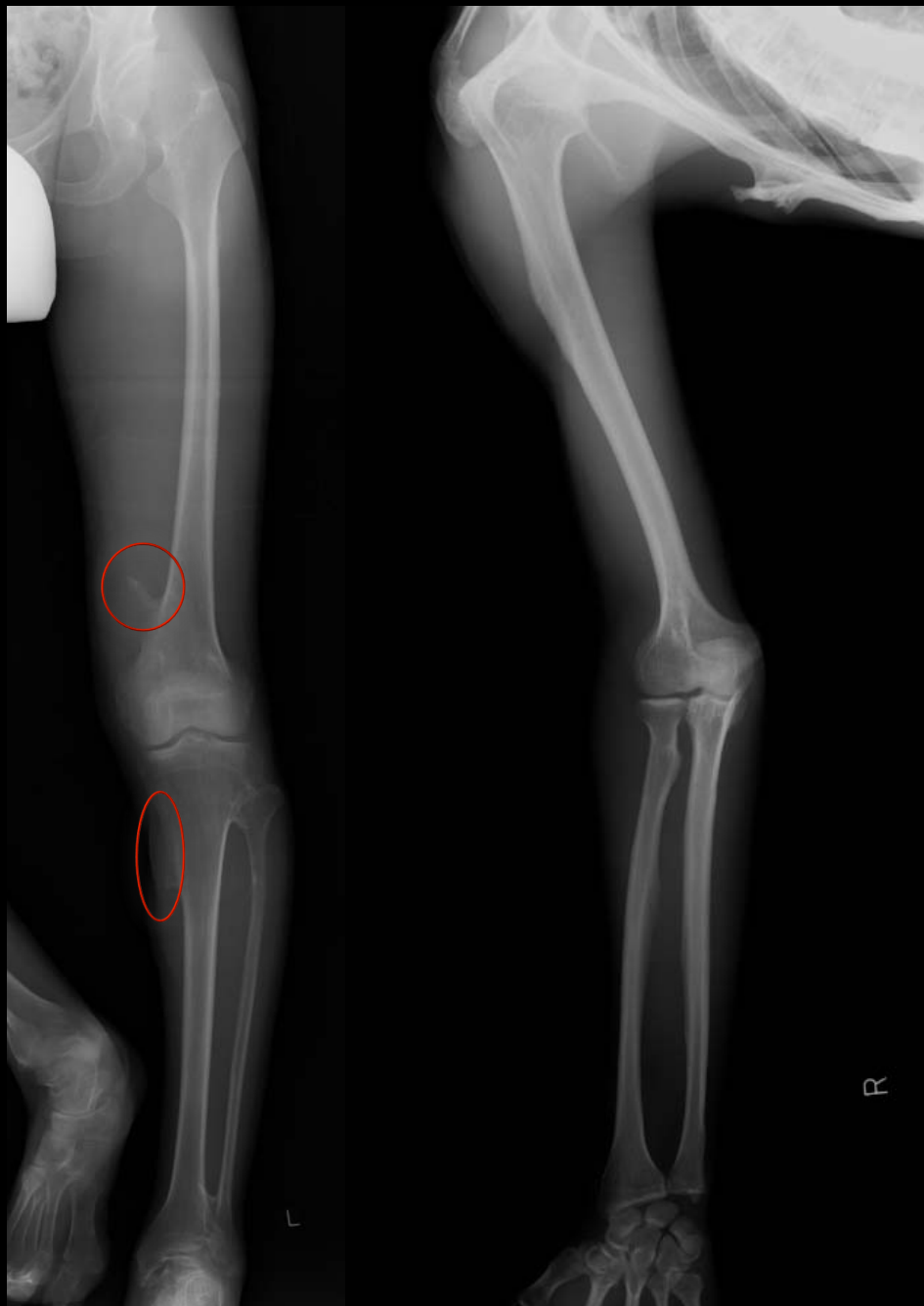
0A Exam:97
Image:1 [1/1]



79 Exam:143
JHE [3/3]
M 1972







四肢関節の可動域 (R/L)

(Shoulder)

Flex **20/40**, ABD 80/100

(Elbow)

Flex 120/140, Ext 0/0

(Hip)

Flex **30/100**, Ext **-30/40**

(Knee)

Flex 130/130, Ext 0/0

第1子：1歳

38週、骨盤位、帝王切開にて出生

出生時身長：50cm、出生時体重：2530g

低血糖があり数日間NICU管理

定頸：3ヶ月、寝返り：4ヶ月、坐位：7ヶ月

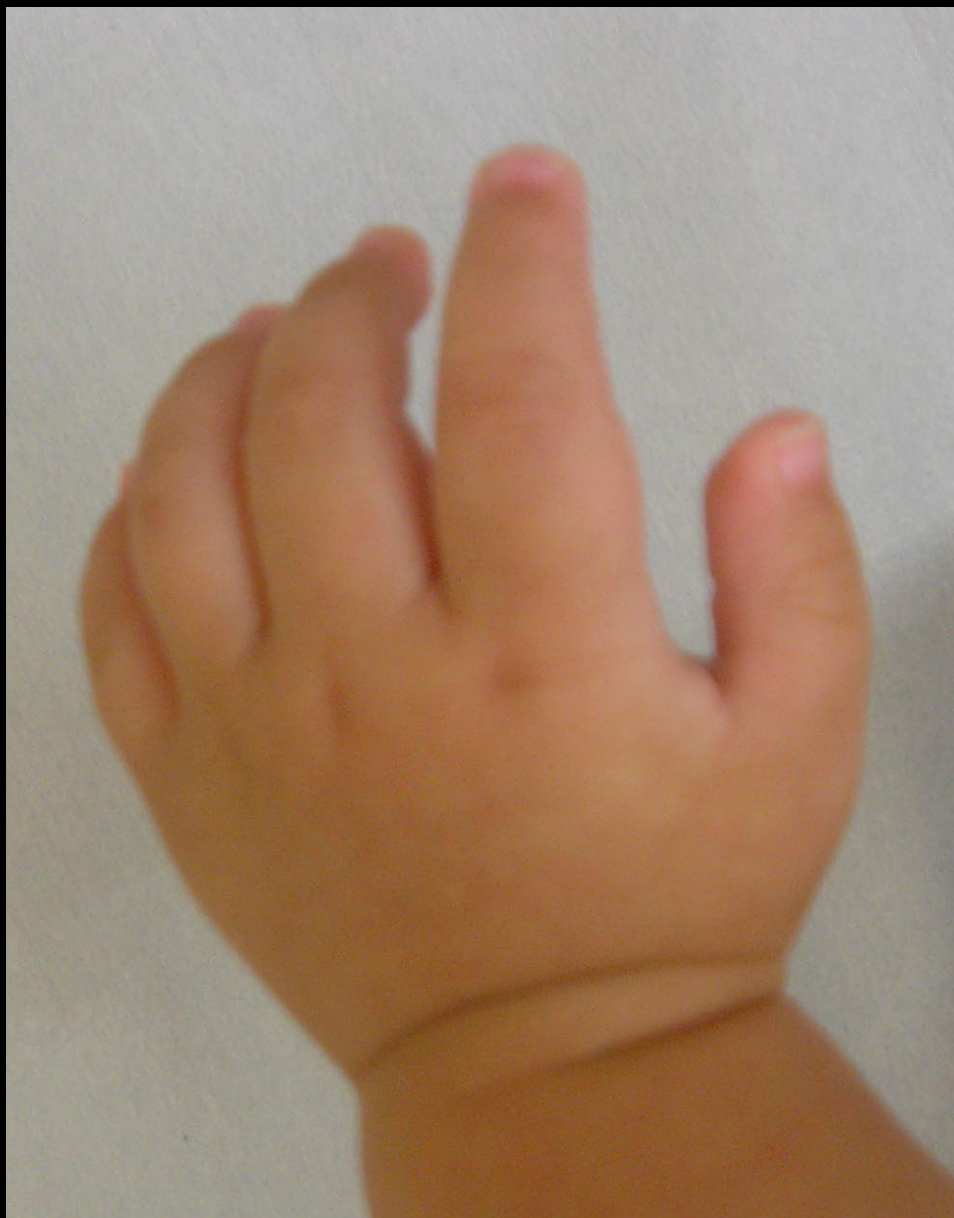
11ヶ月時に当科初診、独歩：13ヶ月

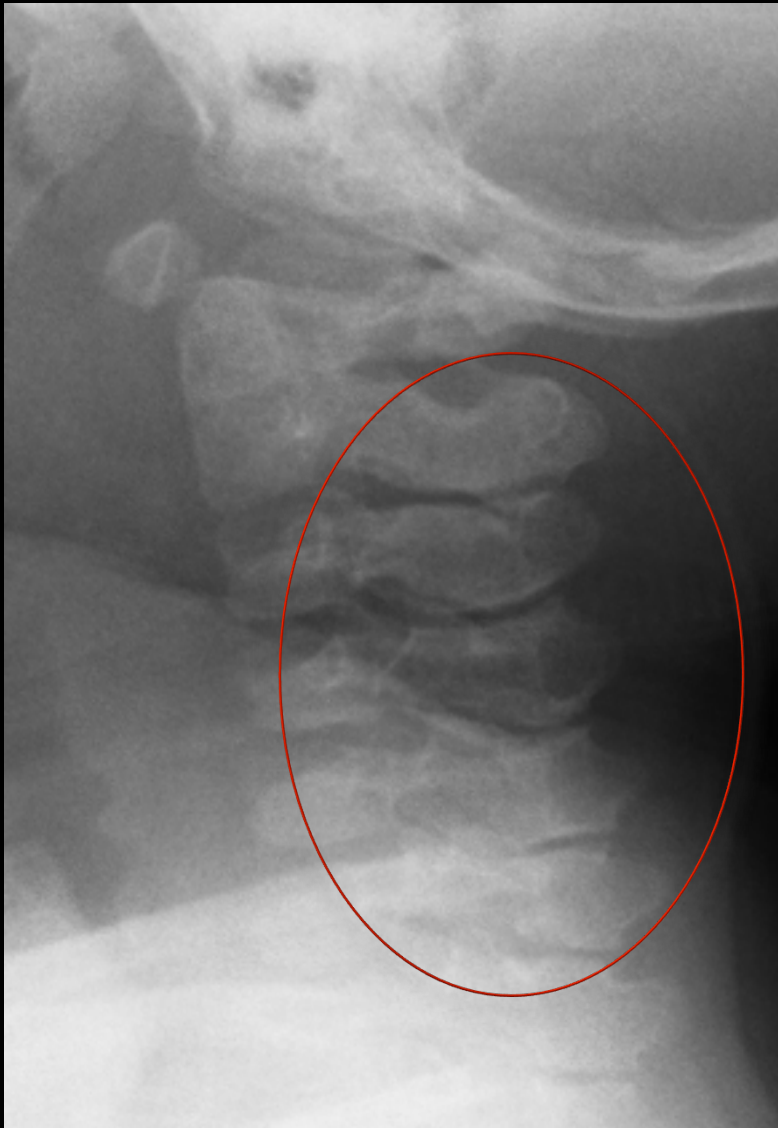
頸椎の可動域制限わずかに認める

その他の関節可動域制限なし

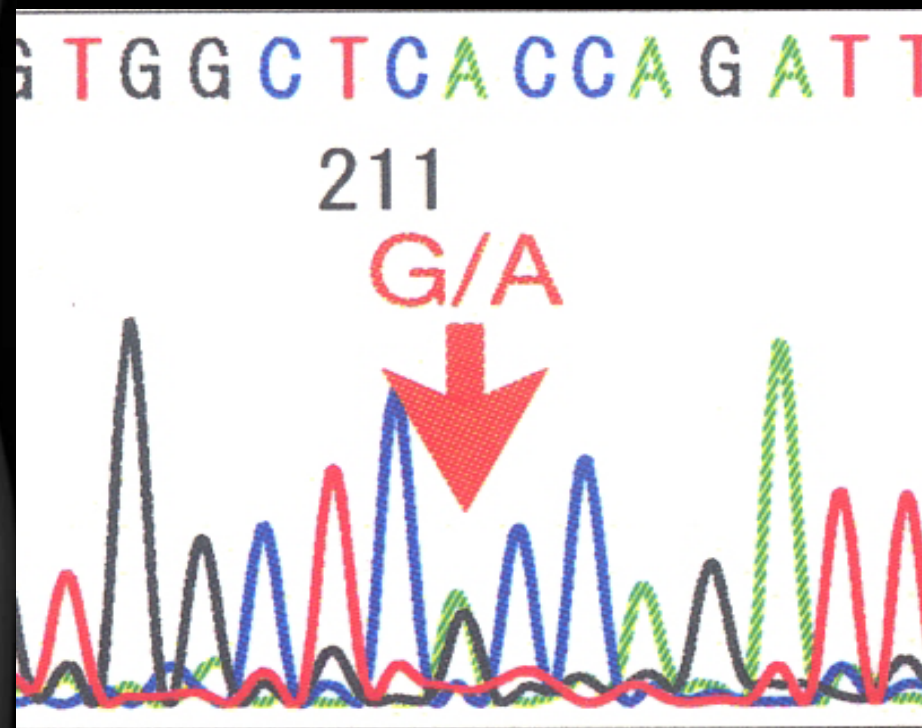
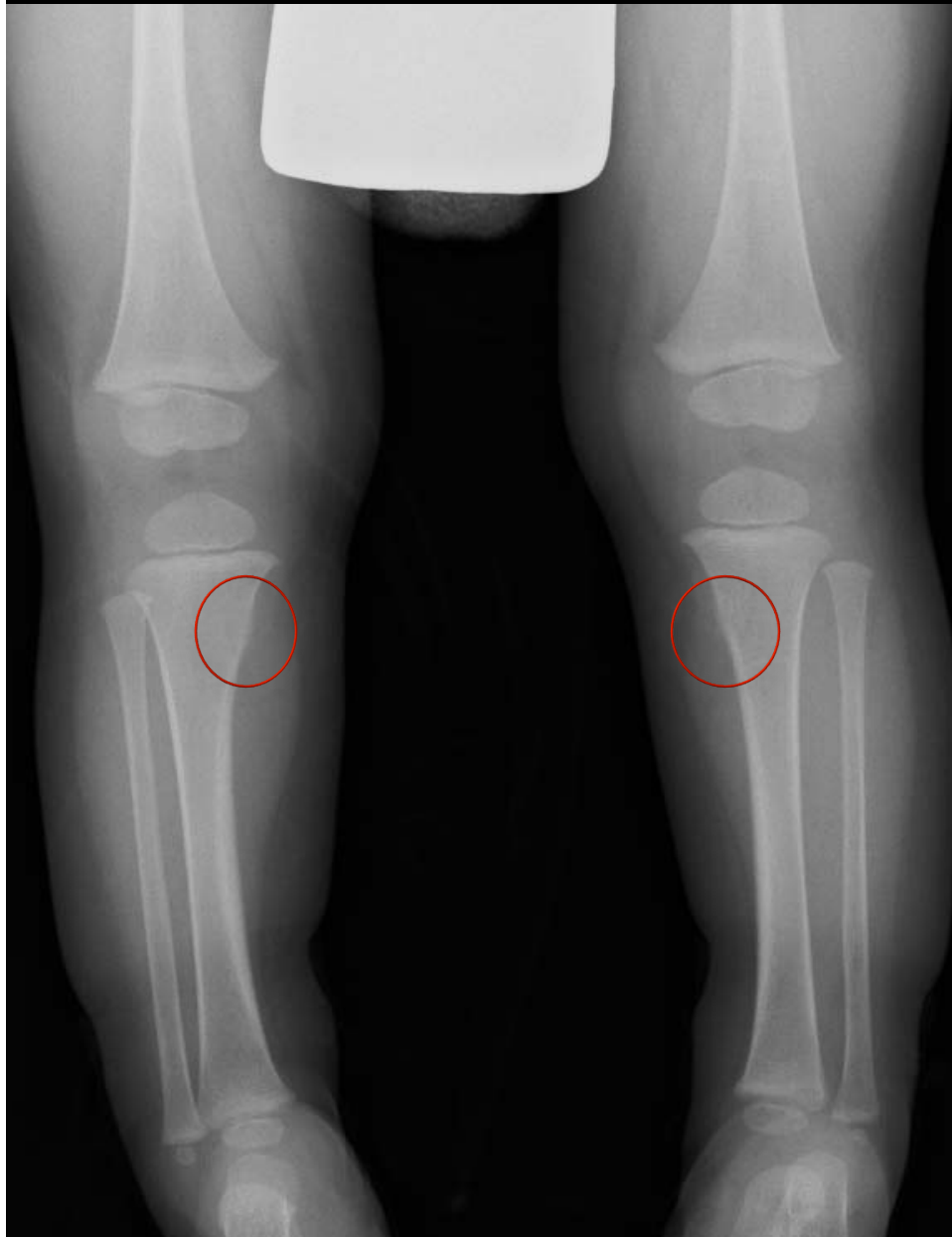
両外反母趾(+)











R206H (607G>A)



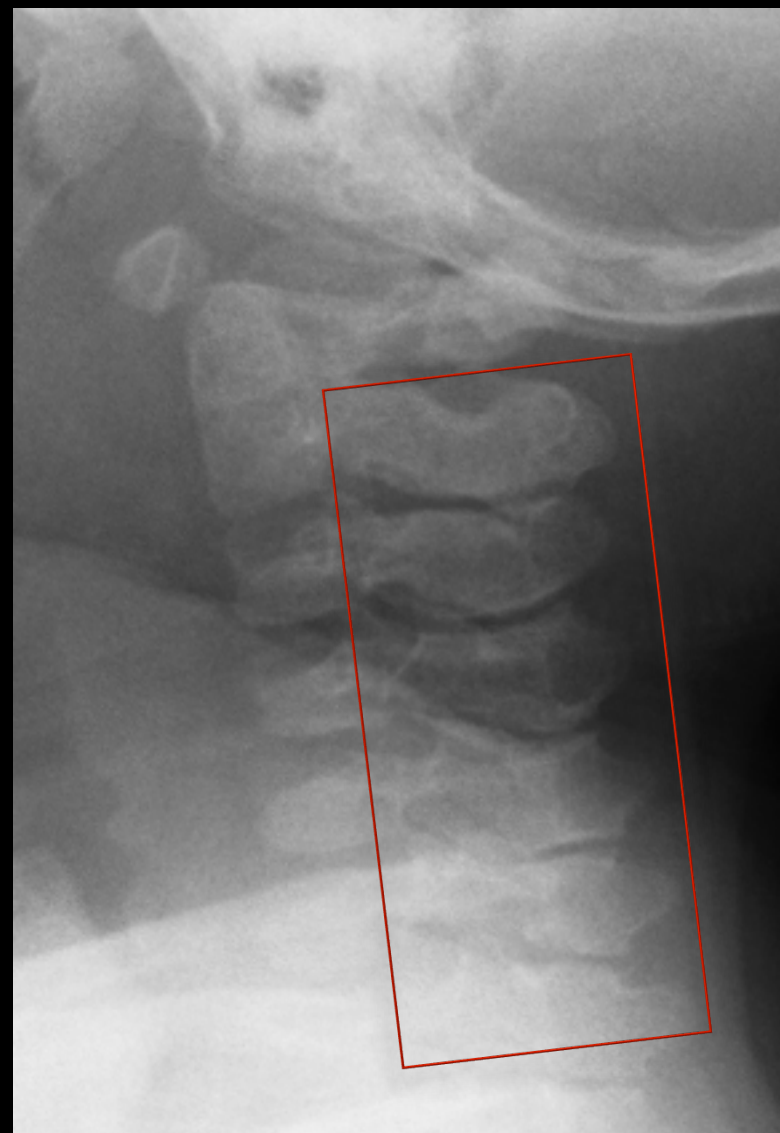
Control (1歳)



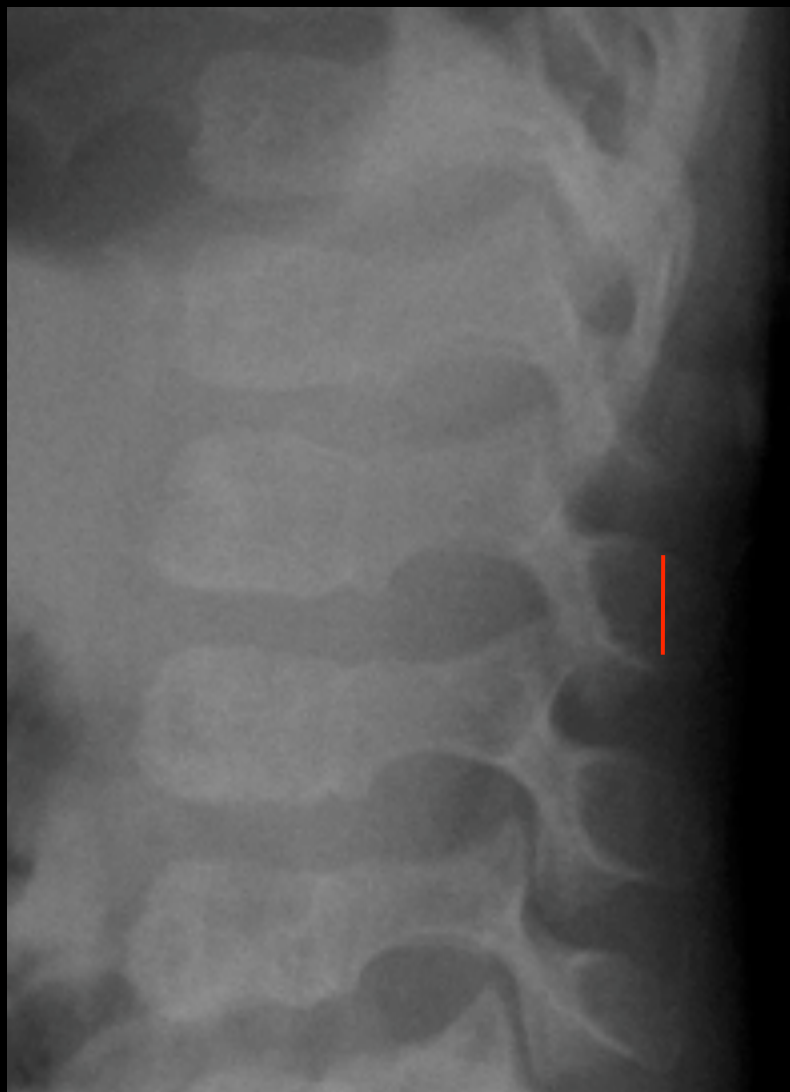
FOP (1歳)



Control (1歳)



FOP (1歳)



Control (1歳)



FOP (1歳)

まとめ

1. FOPの親子例を報告した。
2. FOPでは第1中手骨の短縮、母指基節骨の低形成、頸椎椎弓および棘突起の肥厚など、母趾の短縮や変形以外にも先天性の骨格変形を呈する。